

第6回宮古地区専門高等学校（仮称）統合検討委員会

期 日 令和元年5月14日（火）
時 間 午後3時～午後3時55分
会 場 宮古商業高等学校 会議室

1 開会（宮古商業高等学校 副校長）

2 岩手県教育委員会あいさつ（学校調整課高校改革課長 藤澤 良志）

- ・ 「新たな県立高等学校再編計画」において、宮古商業高校と宮古工業高校の統合による宮古商工高等学校（仮称）については、令和2年度に開校することとなる。
- ・ 昨年度から、本検討委員会を5回開催し、校名案や統合形態、現在の両校の施設を利用する校舎制のあり方等について、学校の実情を踏まえて建設的な御議論をいただき、来年度の開校に向けた準備を着実に進めていただいていることに感謝申し上げます。
- ・ 昭和48年に開校した宮古工業高校と、大正8年に宮古実業補習学校として創立した宮古商業高校は、これまで多くの有為な人材を輩出してきたが、令和の時代に宮古地区の復興・地域振興、さらには岩手県の地域産業を担う専門的な知識と技術を身につけた人材育成をするべく、新たなスタートを迎えることとなる。
- ・ 両校の校歌、校訓等については統合校においても引き継ぐ方向で検討されており、このことは、これまでの両校で培われた素晴らしい伝統及び歴史を絶やすことなく引き継いでいく意志の表れであると認識している。
- ・ 今年度の開校に向けて最終的な検討となることから、新たな高校の一層の充実・発展に向けて具体的な一歩を踏み出すことができるよう、建設的な議論をお願いしたい。

3 委員の委嘱及び紹介（宮古商業高等学校 副校長）

- ・ 委員の紹介

4 委員長及び副委員長の選出（宮古商業高等学校 副校長）

- ・ 委員長 宮古商業高等学校長 菅原 一志
- ・ 副委員長 宮古工業高等学校長 小原 貴人

5 報告事項

(1) 昨年度までの取組状況等の確認について（宮古商業高等学校 副校長）

①校名：「岩手県立宮古商工高等学校」とする。

第3回統合検討委員会において、応募総数89件のうち、「宮古実業高校」「宮古商工高校」、「宮古南高校」の3案を選定することを承認いただいた。県教育委員会で審議いただき、「宮古商工高校」が適当であるという判断をいただいた。

なお、名称については、9月の県議会定例会県立学校設置条例の改正後、正式に決定する。

②統合形態：完全統合とする。

令和2年度の卒業生から、新高校名で卒業する。

③校舎制の形態：独立校舎制

現在の施設等を有効に活用するため独立校舎制として進める。校舎の名称は、地域の方々が分かりやすいように、「商業校舎」、「工業校舎」という名称として進める。

④校歌：「宮古工業高校」の校歌の一部（校名等）を変更した上で、統合校の校歌とする。

宮古商業高校の校歌については、何らかの形で歌い継ぐことを検討。（歌詞は精神歌が相応しく、同窓会等で歌い継ぐことで進めていく。）

⑤校訓：「宮古商業高校」の校訓を継承

「尽心・礼節・中庸」

⑥制服：男子は宮古工業高校の制服、女子は宮古商業高校制服（新仕様）を基本とする。

夏季の熱中症対策のため、夏服をポロシャツにするか、学校指定のジャージ等にするかについては検討中。

⑦部活動の活動場所：女子競技は商業高校の施設を使用する方針とする。

当初、同一種目については男女同一場所で活動する方針で進めていたが、既存の施設を使用すること、移動のためのバス料金が高額なことや工業校舎には女子の更衣室やトイレの問題があること等から、原則として、女子競技は商業校舎を使用する方向で進めている。

<主な質疑等>

[山崎委員（宮古商業高等学校同窓会長）]

野球部は工業校舎で練習することとしているが、バスの確保が理由であるか。

[宮古商業高等学校 副校長]

商業校舎の女子生徒が工業校舎に移動する手段をバスで試算した場合、バスが3台必要であり、年間の経費は2,400万円（1台800万円）の見込みとなる。また、工業校舎の生徒が商業校舎に移動するためにもバスが必要であり、合計で3,000万円を超える見込みであることから、生徒の移動が最小限となるよう、部活動場所を設定したものである。

[甲斐谷委員（三陸宮古青年会議所理事長）]

統合形態は独立校舎制であるが、両校舎間の生徒の交流がほとんどない状況になるのか。

[宮古商業高等学校 副校長]

入学式・卒業式、体育大会、文化祭、課題研究発表会、部活動等は一緒に活動する予定である。学校行事は可能な限り合同で開催し、一体感をもたせる工夫をすることとしている。

[伊藤委員（宮古工業高校同窓会長）]

具体的な活動場所については、男子部、女子部それぞれどのように計画しているのか。

[宮古商業高等学校 副校長]

運動公園では陸上競技、商業校舎ではバスケットボール男女、バレーボール女子、サッカー女子、剣道、ソフトテニス、ソフトボール、レスリング、卓球女子、工業校舎ではバレーボール男子、硬式野球、サッカー男子、ラグビー、柔道、弓道、卓球男子、ハーバーではヨットの活動を計画している。

なお、部員数、自転車利用者数、バスの確保状況、活動状況等を見て、調整を行う必要があると考えている。

[伊藤委員（宮古市教育長）]

夏季の制服についてはポロシャツの着用を検討していただき、新しいデザインとなるよう工夫していただきたい。

[宮古商業高校副校長]

第2回会議において、ポロシャツのサンプルを見ていただいた経緯があるが、小委員会等において検討中であることから、次回の準備委員会で確認の上、お示ししたいと考えている。

6 協議事項

(1) 校章デザイン(案)について（宮古商業高等学校 副校長）

第5回統合検討委員会において、校章のデザインについては宮古商業高校の美術部員が担当することとなっており、生徒が作製した3案について提示させていただく。

[案1] 宮古商業高校の校章をベースに、「商」を「高」にする。

[案2] 宮古商業高校の校章をベースに、「商」を「高」にする。

[案3] 宮古商業高校の校章をベースに、「商」なしとする。

なお、配色については未定であるが、過日開催された準備委員会では、案2がよいのではないかという意見が出されている。

[伊藤委員（宮古工業高校同窓会長）]

校章のデザインに、「商工」の文字を入れることは可能であるか伺いたい。

[山崎委員（宮古商業高校同窓会長）]

「高」と「高」の文字については、校章の配色により「高」が浮き上がるのであれば、案2でよいのではないか。

[宮古商業高等学校長]

- ・ 例として、釜石商工高校の校章のデザインであれば「商工」という文字が収まるが、宮古商業高校の校章デザインがベースの場合は、文字がつぶれてしまうことから、「商工」の文字を入れることは難しい。したがって、提案された3案から選ぶことでよろしいか。
- ・ 校章のデザインについては、案2がよいとの御意見をいただいているが、宮古商業高校のデザインを継承する案2を採用することでよろしいか。

[全委員]

異議なし

[伊藤委員（宮古市教育長）]

ポロシャツ等についても、生徒たちのデザインで作成をお願いしたい。

[宮古商業高等学校長]

宮古商業高校の校章の色には意味があることからデザインの基本としたいと考えているが、詳細な色とデザインについては、今後、あらためてお示しすることとする。

(2) 今後の統合検討委員会のスケジュールについて（宮古商業高等学校 副校長）

次回、第7回検討委員会が最終回の予定である。本日の会議において御意見をいただいた制服に関すること等についても、方向性を示していきたいと考えている。次回の会議は、7月19日（金）の開催を提案する。

[宮古商業高等学校長]

後日、第7回統合検討委員会の開催案内を送付する。なお、各分掌において統合に向けた作業を進めているところであり、必要な項目については提案させていただくこととする。

7 その他

[宮古工業高等学校長]

高総体開会式には、宮古商業高校と宮古工業高校の1年生が参加する予定である。会場では、両校がとなりあう座席配置としており、生徒同士が向き合ってエール交換を行うなど、来年度の統合に向けた交流の場にするとしている。

また、宮古商業高校は「100周年」、宮古工業高校は「47年間の感謝」の横断幕を作成し、当日の行進で使用することも予定している。

8 閉会（宮古商業高校副校長）